

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2023年度	開講キャンパス		開講キャンパス	開設学科		子ども教育学科				
科目名称		国語					授業形態		講義			
科目コード		750080	単位数		2単位	配当学年		2	実務経験教員		○	
担当教員名		藤本 朋美								ICT活用		○
授業概要		<p>この授業の目的は、小学校国語科の内容について理解・習得することです。 小学校国語科では、子ども達の言語生活に基づきながら、国語力を育成していく必要があります。国語力は「基盤的言語力」「文脈的言語力」「主体的関与」の三要素から構成されます。 授業では、この三要素を視点として、小学校国語科で扱う内容について学びながら、言語活動を通じた学習の重要性について考えます。</p>										
関連する科目		事前に「言葉と文章」を受講しておくことが望ましい。 履修後に「教科教育指導法（国語）」を受講することが望ましい。										
授業の方法と進め方		毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。授業の前半では、各テーマについての講義や教材文の分析を行います。【知識・理解の獲得、確認】後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深めます。必要に応じて、レポートや小テストにより学習状況を確認します。【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】毎回の授業終了時には「学習の記録」を書き、自身の学びについて振り返ります。【態度・志向性の育成】なお、毎時間後に作成する学習の記録はWeb上で作成し、学習進捗の確認及びそのフィードバックを行います。講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロフィール上で行います。										
授業計画【第1回】		国語力とは何か 国語力を構成する要素について確認し、伝え合いの仕組みと国語力について考えます。										
授業計画【第2回】		文字と表記 ①平仮名と片仮名 日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。										
授業計画【第3回】		文字と表記 ②漢字 日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。										
授業計画【第4回】		文字と表記 ③文字を書くこと 日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。										
授業計画【第5回】		小学校学習指導要領 国語編 国語科のあり方と学習指導要領について学びます。										
授業計画【第6回】		語彙力・文法力 基盤的国語力としての語彙力および文法力（接続表現、指示）について学びます。										
授業計画【第7回】		音声言語力 基盤的国語力としての音声言語力について学びます。										
授業計画【第8回】		「読むこと」 ①文学的文章／文脈的理解 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。										
授業計画【第9回】		「読むこと」 ②文学的文章／主体的関与 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。										
授業計画【第10回】		「読むこと」 ③説明的文章／文脈的理解 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。										
授業計画【第11回】		「読むこと」 ④説明的文章／主体的関与 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。										

授業計画 【第12回】	「書くこと」 ①主体的関与 「書くこと」と国語力について学びます。
授業計画 【第13回】	「書くこと」 ②文の種類 「書くこと」と国語力について学びます。
授業計画 【第14回】	「話すこと」 ①主体的関与 「話すこと」と国語力について学びます。
授業計画 【第15回】	「話すこと」 ②国語力 「話すこと」と国語力について学びます。
授業の到達目標	1. 小学校国語科の教育内容が理解できる。 【知識・技能の育成】 2. 国語力について「基盤的言語力」「文脈的言語力」「主体的関与」の点から整理して考えることができる。 【汎用的技能の育成】 3. 自身の話す・聞く・読む・書くなどの基本的能力向上のため、意欲的に取り組むことができる。 【態度・志向性の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学習 【予習】	授業時に予習教材を提示します。次の授業までに確認してください。(1時間程度)
授業時間外の学習 【復習】	授業後には、授業の要点を整理するとともに、「学習の記録」に自らが記した「問い」について、関連した図書・資料などを読み、自身の考えを深めてください。(30分程度)
課題に対する フィードバック	小テスト・レポート・最終試験は、評価後、解説します。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み(学習の記録) 30点 レポート 20点 最終試験 50点
テキスト	『小学校学習指導要領解説 国語編』文部科学省
参考書	『国語教育の新常識-これだけは教えたい国語力』森山卓郎・達富洋二編著(2010)明治図書、(1,600円+税) その他必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	